

# 「みんなの生活展 2018」 アンケート 報告

-地域防災分野における男女共同参画の視点- 6つの心得

平成 30 年10月20日(土) 大街道商店街で開催の  
「みんなの生活展 2018」 に出展してきました！！



みんなの生活展って？ 今年のテーマ：「みんなで学ぼう!～ステキな生活へのヒント～」

消費生活のあり方、環境への配慮、心身の健康についてよく考え「安全・安心に暮らせる社会」を実現することを目的に松山市主催で、毎年開催しています。

今年は、消費者プラザ、環境プラザ、健康プラザの 3 部門に 70 団体が出展。

当センター・コムズは、消費者プラザ「30番」で、**アンケート** を行いました。



**アンケート** について



「地域防災分野での男女共同参画」の視点で、クリアフォルダーを作成しています。

その中の「災害時の6つの心得」を表したイラストをボードに掲載し、

【 ご自身の境遇の中で、これは必要だと思うもの、また、考えに近いものはどれか 】

を選び、ボードにシールを貼ってもらうアンケートを実施しました。

◆シールの色は、**男性が赤色**、**女性が青色**

この災害時の6つの心得は、どれも大切な項目のため、複数回答としました。

クリアフォルダー作成にあたって \* \* \* \* \*

昨年度、第3次松山市男女共同参画基本計画の主要課題である「地域防災分野での男女共同参画」において市民意識の向上や理解を深めてもらうため、「災害時の6つの心得」をイラストで表したクリアフォルダーを作成しました。

今年度、7月の西日本豪雨では、本市をはじめ、県内でも多くの被害が発生しました。

今後、南海トラフ地震だけでなく、水害等による自然災害も想定し、より一層、具体的に備えるために、昨年度のクリアフォルダーの裏面に防災バックのチェックリストや避難情報の種類について紹介し、活用してもらいやすいようにしました。



心得①

助け合おう！  
経験活かして  
分担・協力

▶性別や年齢にとらわれない  
役割分担を。

多様性のある役割分担



災害時には、増大した家庭的作業が女性に集中しやすくなります。男性は休まず救助活動や事業復旧に従事し、過労死を招くこともあるため、相互の配慮が必要です。

心得②

参画しよう！  
女性の視点で  
変わる避難所

▶必ず男女で組織運営。  
うち3割以上の女性が理想的。

意思決定への参画



男女共同参画の視点で  
誰もがよりよい環境に

防災に関する意思決定は、男性中心が現状です。女性特有の問題にも応じた災害対応を行うには、女性の参画が不可欠です。

心得③

守りましょう！  
仕切りや個室で  
プライバシー

▶共同生活だからこそ  
お互いを配慮した空間に。

生活環境



避難所において仕切りや更衣室がない場合など、プライバシーを確保することが必要です。高齢者・障がい者・外国人など特別なニーズを持つ人がいることを知りましょう。

心得④

確保しよう！  
安心・安全  
No!暴力

▶ルールを決めて生活を  
することで避難所の治安を  
保ちましょう。

安心・安全



災害時には、女性・子どもへの暴力が増加する傾向にあります。そのため、女性や家庭のニーズに配慮することが必要です。

心得⑤

声に出そう！  
心のストレス  
溜めないで

▶談話スペースなど  
笑顔で過ごせる時間や  
場所を作りましょう。

心身の健康



人は不安や悩みでストレスを抱えてしまいます。女性はメンタルヘルスが悪化しやすく、男性は弱音を吐くことを避ける傾向にあるため、精神面で孤独になることがあります。

心得⑥

配慮しよう！  
必要な物が  
届くように

▶被災者の立場によって  
必要なものが違うことを  
知りましょう。

救援物資



育児・介護・女性用品等が不足する傾向があります。乳幼児や障がいのある家族を抱えた人が車中避難を余儀なくされるケースもあり、物資が届きにくいため配慮が必要です。

災害時の6つの心得





<input type="checkbox"/> チェック-1 <b>非常用袋</b> <small>(リュックザックがおすすめ)</small>	<input type="checkbox"/> チェック-2 <b>飲料水</b> <small>(1人1日3Lが目安)</small>	<input type="checkbox"/> チェック-3 <b>非常食</b> <small>(持ち運びしやすく高カロリーなもの)</small>	<input type="checkbox"/> チェック-4 <b>懐中電灯</b> <small>(予備電池もセットで用意)</small>	<input type="checkbox"/> チェック-5 <b>貴重品</b> <small>(印鑑と通帳はセットで保管)</small>	<input type="checkbox"/> チェック-6 <b>お金</b> <small>(公衆電話用に小銭も準備)</small>
<input type="checkbox"/> チェック-7 <b>携帯ラジオ</b> <small>(予備電池もセットで準備)</small>	<input type="checkbox"/> チェック-8 <b>レジャーシートや毛布</b> <small>(寝袋としても便利です)</small>	<input type="checkbox"/> チェック-9 <b>マスク</b>	<input type="checkbox"/> チェック-10 <b>救急用品</b> <small>(ばんそうこう、包帯、消毒液など)</small>	<input type="checkbox"/> チェック-11 <b>軍手や革手袋</b> <small>(ガラス片などでのがけを防止)</small>	<input type="checkbox"/> チェック-12 <b>ポリ袋</b> <small>(応急手当や調理など多用途に使用)</small>
<input type="checkbox"/> チェック-13 <b>笛やブザー</b> <small>(居場所を知らせることができず)</small>	<input type="checkbox"/> チェック-14 <b>着替え</b> <small>(下着も含みます)</small>	<div style="text-align: center;"> <h2 style="color: yellow;">防災バッグの チェックリスト</h2> <p>1人の大人が 背負って歩くことに 支障のない重さ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 50%; padding: 5px;"> <b>男性</b> 約15kg         </div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 50%; padding: 5px;"> <b>女性</b> 約10kg         </div> </div> </div>		<input type="checkbox"/> チェック-15 <b>雨カッパ</b> <small>(防寒具の代わりにもちります)</small>	<input type="checkbox"/> チェック-16 <b>防災ずきん・ヘルメット</b> <small>(避難時に使用します)</small>
<input type="checkbox"/> チェック-17 <b>スリッパ</b>	<input type="checkbox"/> チェック-18 <b>筆記用具</b>			<input type="checkbox"/> チェック-19 <b>トイレットペーパー ウエットティッシュ</b>	<input type="checkbox"/> チェック-20 <b>マッチやライター</b>
<input type="checkbox"/> チェック-21 <b>簡易トイレ</b>	<input type="checkbox"/> チェック 	<input type="checkbox"/> チェック 	<div style="text-align: center;"> <p>小さな子どもが いる家庭は</p> </div>	<input type="checkbox"/> チェック-22 <b>粉ミルク</b> <small>(ほ乳びんもセットで準備)</small>	<input type="checkbox"/> チェック-23 <b>紙おむつ</b>

チェック項目は、家族構成や家庭の事情に合わせて追加してください

**家族会議をひらき、それぞれの役割分担を決めておくことも備えです！**

情報提供：松山市 総合政策課 危機管理課

**避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合**

避難情報の種類は  
ご存知ですか？

ひなんじゅんび  
**避難準備**

こうらいしやうひなんかいし  
**高齢者等避難開始**

- 避難に時間がかかる人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児をお連れの方)とその支援者は避難を始めましょう。
- その他の人は、避難の準備を整えましょう。

**災害による被害が予想され、人への被害が発生する可能性が高まった場合**

ひなんかんこく  
**避難勧告**

- 速やかに避難場所へ避難をしましょう。
- 外に出ることによって命に危険が及ぶようなときは、近くの安全な場所に避難をしましょう。

**災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人への被害の危険性が非常に高まった場合**

ひなんしじ  
**避難指示(緊急)**

- まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。
- 外に出ることによって命に危険が及ぶようなときは、近くの安全な場所に避難をしましょう。

# アンケート結果 参加者：256名（女性:207名 / 男性:49名）



## 当日の様子





## < アンケート結果 >

回答の多い順 : ⑥ > ③ > ① > ④ > ⑤ > ②

- 最も多く回答があったのは、⑥「救援物資」です。

参加いただいた256名全員の方が選んだ結果となりました。参加者は、ご高齢の方、子ども連れの家族が多かったですが、学生さんなどもいました。どの年齢の方も、男女を問わず被災者が必要とする物資を届けることが大切であると考えていることが分かりました。

乳幼児や障がいのある家族の方が、車中避難を余儀なくされないよう、また、物資の支援が適切に届くよう配慮が必要です。

- 次に多いのが、③「生活環境」です。

女性は98%、男性は100%の方が回答されました。参加いただいたほぼ全員の方が選ばれました。プライバシーの確保は切実な問題だと考えているといえます。避難所において仕切りや更衣室がない場合など、プライバシーを確保することが必要ですが、住民同士が密接に生活している地域においては、すべてを仕切りで囲むことは必要でないというケースもありました。高齢者・障がい者・外国人などのニーズに、また、各地域の現状に応じて対応することが大切です。

- ①「多様性のある役割分担」、④「安心・安全」、⑤「心身の健康」について

①と④については、男女とも約90%以上の回答がされましたが、やや男性の方が多い結果となりました。この結果に対し、男性の理解がより高まっていると感じます。実際に、「炊き出しは、女性だけでなく男性もできるなら一緒に参加した方がいい。」、「女性への暴力が増えることは聞いたことがある。」など、参加男性からのご意見がありました。

多様な視点で、避難所運営が円滑に進めるよう、また意識の向上により、安心・安全な避難所であるよう協力し合って地域を守ることが重要となります。

⑤に関しては、男女ともほぼ同じ回答率となりました。女性は、メンタルヘルスが悪化しやすくなり、男性は弱音を吐くことを避ける傾向にあるため精神面で孤独になりやすいことがあります。避難所では、できるだけ一人では悩まず声に出すことが大切です。

- 回答が最も少なかったのは、②「意思決定の参画」です。

女性は76.8%、男性は85.9%の方が回答されました。地域の防災組織の運営に携わっているのは、男性の方が多いという現状を反映しているのではないかと考えられます。今後、女性特有の問題にも応じた災害対応を行うには、女性の参画が不可欠です。より一層多様な視点で運営が円滑に進んでいけるよう互いの意見を反映することが大切です。

今回のアンケートの中で「防災について再確認するきっかけになってよかった。」、「11月に地域の防災訓練を実施する時に参考にしたい。」などのお声をいただきました。“災害時の6つの心得”がすべて重要な項目であったことを再確認することができました。また災害時には、公助だけでなく“自助”・“共助”も大切です。

みなさんも、これを機に「男女共同参画の視点での地域防災」について考えていただけたら幸いです。